

開催案内

マンスリーセミナー

423 回	8/28 (火)	空間光通信システムの課題と研究開発動向	東海大学 情報通信学部 通信ネットワーク工学科 教授 高山 佳久 氏
(内容) 通信システムに期待される大容量伝送や長距離伝送に加えて、装置を小型に構成できるといった特長を有する光の空間伝搬を利用した通信の研究開発が盛んに進められている。これまでに、国内外における実証実験の成功が報告されているが、同時に、解決すべき課題も多く見出だされている。そこで本講演では、光の空間伝搬を利用する通信において特に移動体を相手とする場合に着目し、装置に必要とされる機能や装置の構成例、技術的な課題などについて述べる。また最近始まった技術標準化の議論および国内外の研究開発動向を紹介する。			
424 回	9/14 (金)	半導体レーザの切り拓く未来	株式会社QDレーザ 代表取締役社長 菅原 充 氏
(内容) 半導体レーザは光通信と光記録を実現して、グローバル情報インフラの構築に大きな寄与をした。現在、インタコネク、センサ、ディスプレイ、医療、精密加工、自動車等の様々な分野で半導体レーザの新しい応用展開が進んでいる。本講演では、株式会社 QD レーザの網膜投影型レーザアイウェア、シリコンハイブリッド量子ドットレーザ等の最新の技術開発と製品化を紹介するとともに、半導体レーザの最近の進化と切り拓く未来について述べる。			
425 回	10/23 (火)	将来アクセスネットワーク用光部品の技術動向と課題	日本電信電話株式会社 NTTアクセスサービスシステム研究所 光アクセス基盤プロジェクト 主任研究員 浅香 航太 氏
(内容) 将来光アクセスネットワークは、これまでの FTTH サービスに加え、ビジネスやモバイルサービスなど様々なサービスの収容を実現することが期待されている。近年標準化が完了した NG-PON2 は、波長分割多重技術を導入することにより、多様なサービスに対応できるだけでなく、宅内装置への割当波長を変更することでシステムの効率的な運用および高信頼性が期待できる。本講演では、NG-PON2 の特徴、主な仕様およびユースケースについて紹介すると共に、光部品への要求条件・市場動向および技術的な課題について概説する。			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧ください。

会 場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅 3 番出口）
東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル 7 階
時 間：午後 3 時 30 分～5 時 30 分
定 員：60 名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参 加 料：協会賛助会員：1,500 円（1 回につき・消費税込）
一般参加：3,000 円（1 回につき・消費税込）
大学・公的機関：無料（学生・院生含む）
申 込 先：光産業技術振興協会 開発部 村谷
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435
E-mail：mly@oitda.or.jp